

3 ポスト冷戦時代の国際政治

vigil →本来は徹夜でお祈りをする、という意味
夜を徹しての(市民運動的)抗議集会

5つのEで考えるポスト冷戦時代
冷戦が終わったからこそ実現した
エスニック・コンフリクト(民族紛争)
→民族のアイデンティティを考えるようになったから
エンバイロメント→地球環境問題。核戦争の危機が去ってクローズアップされてきた
エナジー→旧社会主義国の工業化。中国のエネルギー問題
イーコマース(電子商取引)、イーポリティックス
→internetの民間解放から。議員、政党が使っている
→アメリカの時代になるのでは?
エンパワーメント(力つける)
→個人的、団体、世界的。今まで弱かった立場が浮かび上がってくる
女性、市民、NPO、NGO、少数民族(先住民)

4 「9.11」後の国際政治

世界が変わった。まずアメリカが変わった。

2001年2月ブッシュ大統領就任

平時に、民間人・本土を攻撃されたことがトラウマに

→「真珠湾以来」

→「新しい戦争の時代」

国家対ゲリラ

米国単独主義(ユニラテラリズム)

先制攻撃正当化論→グロチウス以来の国際法の慣習を破る

2002年1月「一般教書演説」→「悪の枢軸」

2006年3月イラク戦争3周年

イラク人犠牲者は不明(数万人とも)

米軍側死者は2500人以上→報道管制で不明だった

アメリカでは「アルジャジーラ」の報道が流れなかった

新政権でイラクが安定するのか?

シーア派とスンニ派の争い

シーア派は多数派だったがフセイン政権時代、抑圧されていた

ソ連のアフガニスタン侵攻以来、アフガニスタンは無視されていた

イラク問題以降、アメリカは中東に深く関わるように

イラクだけ民主化すればいいのか?

イラクの弱体化後の中東の力関係はどうなるのか?

2004年1月ブッシュ大統領の「大中东構想」

民主化の推進(輸出)、経済改革

民主化→王政の国はどうなるのか?産油国、親米政権

民主化したらハマスのような過激な政権ができたらどうするのか?

10:45 ~ビデオ

スンニ派とシーア派の対立

スンニ派→地下資源も少ない。貧しい地域。フセイン元大統領の出身基盤。

シーア派→多数。肥沃の地。フセイン政権時抑圧された。

クルド人→地下資源が豊富。フセイン政権時抑圧された。

首都バクダットは中間地域

フセイン政権後、国の統一が乱れてきた。

宗教色の強まり

イランの接近(シーア派、反米、資金・労働力提供)

イランは1979年イスラム革命(ホメイニ VS パーレビ)以降反米

レポート yes/no

1 アメリカのイラク政策は成功する。

2 イラクの民主化は成功する。

3 イラクの「内戦」は長期化する。

3つのうち、一つ選ぶ。なぜそう思うか。

国のないクルド人をどう支援すればいいのか?

イラン(ペルシャ)とイラク(アラブ)

民族が同じ、言葉が違う、国が違う、宗教が同じ

5 ブッシュ政権と「ネオコン」の思想

neo-conservative →アメリカで独自のな使われ方

☆軍事力・経済力、民主主義・人権・自由などで米国を自負する

☆米国型民主主義を世界に広げることが米国の責任

☆そのためには武力行使もためらわない

なぜ、「新」保守主義なのか。今までとどう違うのか？

→ネオコンのゴッドファーザー Irving kristol

共産主義者から戦後、反共へ「転向」

ブッシュ大統領の思想背景

☆南部出身→東部の大学を出たエリート

☆南部気質(文化・風土)→白黒はっきり、力による正義(西部劇)

☆南部キリスト教右派の影響→保守的、原理主義(fundamentalism)

→聖書の通りにまじめに実行する

創造論 Intelligent Design ← creation

進化論 Evolution

ある程度、年齢がいったから再び宗教に目覚める→ Born Again Christian

ブッシュはネオコンにのっかった、と考えられる。

アメリカの保守主義者の本音

PNAC の理念←検索すべし 必要がある = need to ~

アメリカ的な秩序・価値観、世界に向かってどうすべきか

国連決議無視

先制攻撃も OK

→「9.11」以降の現象